

林 土 連

NO. 275
RINDOREN KAIHO



令和7年度林土連定時総会

主な記事

令和7年度林土連定時総会及び林土連創立65周年記念行事
第1回理事会
会員からの声



令和7年度 林土連定時総会を開催

令和7年2月18日(火)東京都内のホテルにおいて、令和7年度林土連定時総会を開催しました。

定時総会には全国から約150名の会員の皆さまに参集いただくとともに、ご来賓として林野庁国有林野部の眞城英一部長をはじめとする林野庁幹部の皆さまや林業関係団体の皆さまにご臨席を賜りました。

また、定時総会に併せて開催した林土連創立65周年記念行事には、青山豊久林野庁長官にもご臨席いただき、ご挨拶を賜りました。

定時総会では、函館林業土木協会の戸沼 淳会長を議長に選任し第1号議案「令和6年度事業報告及び決算について」、第2号議案「会員の新規加入について」を審議し、いずれも全会一致で承認されました。



新谷会長



林野庁国有林野部 眞城部長



日本林業協会 島田会長



議長の戸沼函館協会会長

林土連創立65周年記念行事では、最初に緑の募金贈呈式が行われ、新谷会長から国土緑化推進機構の織田 央専務理事に募金の目録を贈呈しました。

続いて、林野庁長官感謝状授与式では、長年にわたって林業土木事業関係団体の要職にあつて組織の育成と事業の発展に寄与したとして、青山林野庁長官より4名の方々に感謝状が授与されました。

次に、長年にわたって協会の発展に寄与したとして20名の会員に林土連会長より表彰状が授与されました。

また、令和6年度林野庁治山・林道工事コンクールにおいて、農林水産大臣賞2点、林野庁長官賞32点の受賞が報告されました。

最後に林野庁長官感謝状の受賞者を代表して山本求道氏（九州林業土木協会）、林野庁治山・林道工事コンクールの受賞者を代表して治山の部で農林水産大臣賞を受賞した小野 徹氏（東京林業土木協会）から謝辞がそれぞれ述べられ、記念行事は終了しました。



青山林野庁長官

新谷会長(右)より緑化推進機構
織田専務理事(左)へ緑の募金を
贈呈小野建設株式会社 小野様による
工事コンクール受賞謝辞林野庁長官(右)より九州協会
山本様(左)へ感謝状の授与

大変お忙しい中、ご臨席を賜りました来賓の皆さまには、心より御礼申し上げます。

また、各賞を受賞された皆さまには、心よりお祝い申し上げますとともに、今後、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

各賞受賞者

(協会名、会社名、氏名(敬称略)の順に掲載)

○林野庁長官感謝状 4名

▽前橋、那須土木株式会社、玉木 茂▽名古屋、付知土建株式会社、三尾秀和▽四国、株式会社原田組、根本長茂▽九州、薩摩建設株式会社、山本求道

○林土連会長表彰 20名

▽旭川、株式会社中川建設旭川支店、三浦直樹▽北見、株式会社三共後藤建設、後藤武史▽帯広、株式会社ホリタ、堀田 真▽札幌、株式会社中山組、中山 茂▽函館、株式会社松本組、大越雄司▽青森、三和建設株式会社、丹野敬治▽青森、一般社団法人青森林業土木協会、大橋一元▽秋田、山科建設株式会社、山科 優▽前橋、株式会社武藤組、武藤恭平▽前橋、株式会社高橋組、高橋伸幸▽東京、天野工業株式会社、谷内政雄▽長野、三留野土建株式会社、森 正人▽長野、木下建設株式会社、木下勝貴▽名古屋、ナガイ株式会社、村上 勉▽名古屋、日下部建設株式会社、岡崎博文▽大阪、株建設工業株式会社、株本 寛▽大阪、株式会社松原組、松原重充▽四国、有限会社上西組、上西光男▽九州、永野建設株式会社、永野真哉▽九州、株式会社仁科産業、仁科聡一郎



林野庁長官感謝状受賞者



林土連会長表彰受賞者

○林野庁治山・林道工事コンクール
治山工事

〔農林水産大臣賞〕 1名

▽東京、小野建設株式会社、小野大和

〔林野庁長官賞〕 17名

- ▽旭川、株式会社中川建設、吉田 寛▽北見、大同産業開発株式会社、今野政男▽帯広、イチエイ山田建設株式会社、中塚 学▽札幌、岩倉建設株式会社、鈴木泰至▽函館、株式会社石井組、小保内義人
- ▽青森、細川建設株式会社、細川雅祐▽秋田、株式会社丸高、横瀬夏樹▽前橋、東武建設株式会社、飯野秀夫▽前橋、株式会社武藤組、武藤恭平▽前橋、株式会社山嘉土建、斎藤勝巳▽長野、木曾土建工業株式会社、青木孝尚▽名古屋、新栄建設株式会社、高平公輔▽大阪、別府建設株式会社、谷垣武志▽株式会社泉組、泉 巖▽大阪、株式会社井木組、井木敏晴▽四国、明治建設有限会社、川崎篤志▽九州、岩田建設株式会社、岩田龍裕

林道工事

〔農林水産大臣賞〕 1名

▽大阪、株式会社井原組、井原昌二

〔林野庁長官賞〕 15名

- ▽旭川、株式会社橋本川島コーポレーション、橋本 毅▽帯広、徳井建設工業株式会社、徳井裕昭▽札幌、岸本産業株式会社、岸本教範▽函館、株式会社工藤組、福西秀幸▽青森、滝内建設株式会社、滝内幹雄▽秋田、株式会社沼倉組、樋渡廣子▽前橋、森本建設株式



林野庁治山・林道工事コンクール受賞者
(治山工事の部)



林野庁治山・林道工事コンクール受賞者
(林道工事の部)



森林整備・治山事業促進議員連盟
山口会長



懇親会の様子

会社、森本 榮▽前橋、瑞穂建設株式会社、篠原玄洋▽長野、株式会社北原組、北原裕一▽名古屋、株式会社矢野土木、矢野克也▽大阪、開盛建設株式会社、村上英司▽四国、株式会社井原組、井原貴仁▽魚梁瀬産業有限公司、五百藏浩二▽四国、湯浅建設株式会社、湯浅雅喜▽九州、林建設株式会社、西釜茂文

林土連定時総会及び林土連創立65周年記念行事終了後、多くのご来賓をお招きして懇親会を開催しました。
冒頭、新谷会長の挨拶の後、森林整備・治山事業促進議員連盟の山口俊一会長をはじめ、多くの国会議員の先生方から力強い激励のお言葉をいただきました。
国会会期中にもかかわらず、ご来駕を賜りました国会議員の先生方をはじめ、林野庁幹部の皆さま、関係団体の皆さまには誠にありがとうございました。

令和7年度第1回理事会を開催

1月23日（木）海運クラブにおいて令和7年度第1回理事会を開催しました。

理事会に先立ち、林野庁計画課施工企画調整室及び業務課より所掌事項についてご説明をいただきました。



林野庁説明 有山室長(左)、宇山課長(中央)、山内企画官(右)

理事会では、冒頭、新谷会長から、「令和7年度の当初予算が概算決定され、林野公共事業予算は、令和6年度補正予算と合わせて、2735億円を超える額を確保できた。予算確保に協力いただいた各協会及び関係者に感謝申し上げます。林土連としては、本年度も予算のさらなる上積みに向けてしっかりと取り組んで参りたい」との挨拶がありました。

理事会での主な協議事項は次のとおりです。

- (1) 令和7年度林土連定時総会及び創立65周年記念行事について
- (2) 令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告について
- (3) 令和7年度事業計画及び予算の一部修正について
- (4) 会員の新規加入について
- (5) 令和8年度林土連技術現地研修会について

報告事項

- ① 令和6年度コンプライアンスに関する活動報告
 - ② 令和7年度コンプライアンス委員会事業計画
 - ③ 令和7年度における林土連の行事予定
- 業務多忙な中、所掌事項の説明にご出席いただいた林野庁の皆さまには改めて御礼を申し上げます。



新谷会長



理事会の様子

「会員からの声」

食と文化の街 函館からの便り

戸沼岩崎建設株式会社

代表取締役社長 戸沼 淳

(函館林業土木協会 会長)

はじめに全国各地で近年頻発しております地震、豪雨など自然災害で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

弊社は、昨年皆様のおかげをもちまして、創業90周年・創立70周年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに、長年にわたり支えていただいた関係各位の皆様のおかげと、深く感謝を申し上げます。

弊社は北海道函館市を拠点に、地域社会とともに成長を目指す地域に根ざした建設会社です。創業以来、土木・建築工事をはじめとする幅広い分野で、確かな技術と誠実な対応を通じて地域のインフラ整備や住環境の向上に貢献してまいりました。

創業は1934年（昭和9年）



奥尻町(本町地区)治山工事(平成26年度林野庁治山・林道工事コンクール林野庁長官賞)



駒ヶ岳(押出Aの沢)地域防災対策総合治山工事



(東日本大震災復旧事業) 関上漁港 広浦橋下部工事(宮城県名取市)

です。同年3月に函館大火があり、焼失戸数2万戸以上、死者2千人を越す大惨事が発生しました。その復興事業として住宅建築工事を施工したのが弊社の始まりであります。昭和22年には函館営林署が開局され、その庁舎の建築工事に参加しましたのが国有林事業と関わるきっかけとなりました。その後は、治山・林道事業にも参入し、昭和48年羊蹄山民有林直轄治山事業、平成5年北海道南西沖地震復旧事業、東日本大震災復旧事業など数多くの事業に携わらせていただき、安全で豊かな暮らしの実現のため尽力しております。

弊社が拠点をおく函館市は、北海道南部に位置する自然と歴史、文化が見事に融合した魅力あふれる港町です。1869年に開港した函館港は、日本で最初に国際貿易港として開かれた五港の一つであり、その歴史が市内の至るところに刻まれています。

異国情緒あふれる元町エリアでは、西洋建築や石畳の坂道が広がり、旧函館区公会堂やハリストス正教会といった歴史的建造物が訪



函館坂道



ハリストス正教会

れる人々を魅了します。
 函館山から望む夜景は「世界三大夜景」の一つに数えられるほど有名で、その絶景は訪れる人々に忘れられない感動を与えます。また、五稜郭公園は日本初の西洋式星形要塞として知られ、春には約1600本の桜が咲き誇る名所としても親しまれています。さらに、函館は食文化も豊かで、函館朝市では新鮮な海産物を堪能でき、塩ラーメンやイカ刺しといった名物料理が訪れる人々に愛されています。

年間を通じて開催される多彩なイベントは観光客だけでなく地元市民も楽しみにしております。毎年8月に行われる「函館港まつり」では、市民参加型の「いか踊り」が名物で、観光客も楽しむことができます。7月の「函館マラソン」は、美しい景観の中を走ることができる人気のスポーツイベントです。さらに、12月には「函館ク



五稜郭公園



赤レンガ倉庫群

リスマスフアンタジー」が開催されます。赤レンガ倉庫群を背景に、海上に設置された大きなクリスマスツリーが幻想的に輝き、夜には火花が打ち上げられます。この時期の函館は、一層ロマンチックな雰囲気にも包まれ、忘れられないひとときを過ごせる場所となります。

函館はこのように歴史、文化、自然、食が融合した魅力的な地域です。管内には国有林が広がり、その自然環境は北海道の生態系を支える重要な役割を果たしています。

森林の保全や木材資源の管理は、地域の暮らしや産業を支える基盤であり、私たちはこれからも国有林野事業を通じて地域の自然と社会の調和を目指してまいります。

函館の豊かな自然環境を守り、その魅力を次世代に伝えていくことは、私たちの重要な使命です。林野庁が進める治山・林道事業に引き続き参画することで、これらの取り組みを私たちの会社の歴史として刻んでまいりたいと考えております。

林野庁治山・林道工事コンクール 農林水産大臣賞受賞工事の紹介

○ 小山地区（角取山1外）直轄治山工事

（R4ゼロ国）

施工者 小野建設株式会社（東京林業土木協会）

治山ダム5基と流路工、丸太法枠工等の複数工種を実施した工事でICT技術を活用し、計画的な工程管理や施工管理が行われており、作業の効率化が図られていた。



完成状況



ICT技術を活用した完成予想図

○ 藤目谷林業専用道新設工事

施工者 株式会社井原組（大阪林業土木協会）

コンクリート擁壁の施工において、型枠資材や支保を増やし、滑らかな曲線の型枠を設置しており、曲線美が素晴らしい施工となっていた。また、流路工の流末に、現地で発生した自然石を利用した流路を設置するなど工夫が見られた。



完成状況



滑らかな曲線に仕上げた擁壁

令和6年度

社会貢献活動実施報告書（Vol.11）を発行

Vol.11

林土連の会員である全国14の林業土木協会では、毎年、地元の国有林野などで様々な社会貢献活動を実施しています。

令和6年度も、多くの協会で森林（国有林）の整備や森林レクリエーション施設の環境整備、林道・遊歩道の補修、不法投棄物の回収などのクリーン活動など、地域の実情や要望に応じて多岐にわたるボランティア活動を実施してまいりました。

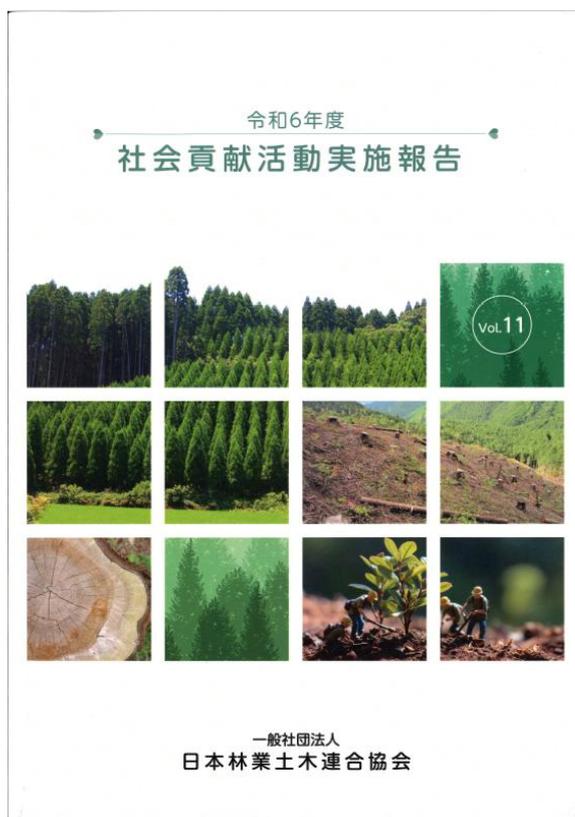
また、令和6年度も梅雨や台風に伴う豪雨など各地で災害が発生しましたが、各協会と関係森林管理局との間で締結している「国有林防災ボランティア協定」に基づいて、会員の専門的知見と機動力を活かし、豪雨直後に被害発生状況等を調査して森林管理局・署に報告する防災ボランティア活動を実施しました。

このほか、森林・林業及び林業土木事業の後継者の育成・確保を図るための学生を対象とした現場見学会を開催するなどの活動も実施しています。

林土連では、これらの活動をより多くの皆様に知っていただくため、各協会が行った社会貢献活動の概要を平成26年度から冊子に取りまとめて発行しています。

今年も令和6年度の各協会の活動を取りまとめ、（Vol.11）として冊子を発行し、お世話になってる主要な国会議員、林野庁、各森林管理局等に配布させていただきました。

なお、各協会が実施した社会貢献活動は、当協会のホームページ（<http://rindoren.or.jp/>）にも掲載しています。



令和6年度 社会貢献活動報告書（Vol.11）

● ● ● 協会の主な動き ● ● ●

1月23日(木) 第1回理事会、三役会議(海運クラブ)
コンプライアンス委員会(海運クラブ)

2月3日(月) 事務局長定例会議(リモート)

2月18日(火) 令和7年度林土連定時総会

及び創立65周年行事

3月3日(月) 事務局長定例会議(リモート)
(ホテルポール翹町)

● ● ● 今後の予定 ● ● ●

4月2日(水) 令和7年度第1回技術・安全委員会
(リモート)

7月(未定) 三役会議(海運クラブ)

9月9日(火) 第2回理事会、三役会議(海運クラブ)
コンプライアンス委員会(海運クラブ)

9月10日(水) 事務局長会議(DAYS赤坂見附)

10月22日(水)
10月23日(木) 技術現地研修会(軽井沢町)

11月17日(月) 技術担当者連絡協議会(DAYS赤坂見附)

11月18日(火) コンプライアンス講習会(DAYS赤坂見附)
労働災害防止研修会(DAYS赤坂見附)

11月19日(水) 治山・林道のつどい(海運クラブ)

12月4日(木) 第3回理事会、三役会議(海運クラブ)

令和8年

1月22日(木) 第1回理事会、三役会議(海運クラブ)

2月17日(火) 令和8年度定時総会及び関連行事
(ホテルポール翹町)

● ● ● 編集後記 ● ● ●

◎ 令和7年度林土連定時総会及び創立65周年記念行事は、多くの会員の皆様方に参集いただき、一連の行事を滞りなく終了することができました。

また、ご多忙の中、来賓としてご臨席を賜りました森林整備・治山事業促進議員連盟の山口会長、林野庁の青山長官はじめ多くの皆様方には改めて厚く御礼を申し上げます。

◎ 今回、林土連創立65周年にあたり林野庁長官感謝状を受賞された皆さまをはじめ林土連会長表彰を受賞された皆さま、そして林野庁治山・林道工事コンクールで農林水産大臣賞や林野庁長官賞を受賞された皆さま方には、心からお慶びを申し上げます。

◎ 令和6年度治山・林道工事コンクール受賞工事が林野庁ホームページで公表されています。

本年度からは掲載されている受賞工事写真をクリックすると、工事概要と工事関係事業者の一覧を見ることができるようになりました。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/gyomu/tisanrindoconours/koujicon.html>)



一般社団法人

日本林業土木連合協会

東京都千代田区永田町二一四一二

山王グラウンドビル三階

(TEL) 〇三―三五八―一七七〇四

(FAX) 〇三―三五八―〇一八四〇三

<http://rindoren.or.jp>

発行者 堂本 整

